

2023年6月19日

東京都江東区豊洲三丁目2番24号  
**SCSKサービスウェア株式会社**  
 代表取締役社長 渡辺 篤史

**貸借対照表**  
 (2023年3月31日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>(資産の部)</b>		<b>(負債の部)</b>	
<b>流動資産</b>	<b>18,263</b>	<b>流動負債</b>	<b>5,252</b>
現金及び預金	216	買掛金	883
グループ内預け金	12,444	未払金	472
売掛金	5,056	リース債務	1
契約資産	19	未払法人税等	575
商 品	1	未払消費税等	557
貯 蔵 品	3	未払費用	1,534
前払費用	378	前受金	79
未収入金	142	預り金	165
立替金	2	賞与引当金	980
貸倒引当金	△0	受注損失引当金	0
<b>固定資産</b>	<b>4,606</b>	<b>固定負債</b>	<b>1,324</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>2,697</b>	資産除去債務	1,316
建 物	1,886	リース債務	8
構 築 物	0	<b>負債合計</b>	<b>6,576</b>
器 具 備 品	802	<b>(純資産の部)</b>	
リース資産	8	<b>株主資本</b>	<b>16,294</b>
<b>無形固定資産</b>	<b>91</b>	資本金	100
電話加入権	19	資本剰余金	8,150
ソフトウェア	72	資本準備金	524
<b>投資その他の資産</b>	<b>1,817</b>	その他資本剰余金	7,625
長期前払費用	8	<b>利益剰余金</b>	<b>8,043</b>
前払年金費用	316	その他利益剰余金	8,043
敷金及び保証金	1,328	繰越利益剰余金	8,043
繰延税金資産	164		
		<b>純資産合計</b>	<b>16,294</b>
<b>資産合計</b>	<b>22,870</b>	<b>負債純資産合計</b>	<b>22,870</b>

**損 益 計 算 書**

自 2022年4月1日

至 2023年3月31日

(単位：百万円)

科 目	金	額
売 上 高		35,183
売 上 原 価		28,465
売 上 総 利 益		6,717
販売費及び一般管理費		3,866
営 業 利 益		2,851
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	1	
そ の 他	18	20
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	0	
そ の 他	10	10
経 常 利 益		2,860
特 別 利 益		
固 定 資 産 売 却 益	0	0
特 別 損 失		
固 定 資 産 除 却 損	7	7
税 引 前 当 期 純 利 益		2,852
法人税、住民税及び事業税	1,113	
法人税等調整額	△ 17	1,095
当 期 純 利 益		1,757

## 株主資本等変動計算書

自 2022年4月1日

至 2023年3月31日

(単位：百万円)

	株主資本							純資産 合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		株主資本 合計	
		資本 準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	その他 利益剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計		
<b>当期首残高</b>	100	524	7,625	8,150	7,097	7,097	15,347	15,347
事業年度中の変動額								
剰余金の配当					△ 810	△ 810	△ 810	△ 810
当期純利益					1,757	1,757	1,757	1,757
<b>事業年度中の変動額合計</b>					946	946	946	946
<b>当期末残高</b>	100	524	7,625	8,150	8,043	8,043	16,294	16,294

## 個 別 注 記 表

### (重要な会計方針に係る事項に関する注記)

項目	当事業年度				
1 固定資産の減価償却の方法	<p>(1) 有形固定資産（リース資産を除く） 定額法を採用しております。 なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>建 物</td> <td>8～22年</td> </tr> <tr> <td>器具備品</td> <td>5～10年</td> </tr> </table> <p>また、2007年3月31日以前に取得したものについては、償却可能限度額まで償却が終了した翌事業年度から5年間で備忘価額まで均等償却する方法によっております。</p> <p>(2) 無形固定資産（リース資産を除く） 自社利用のソフトウェア 社内における利用可能期間（5年以内）に基づく定額法を採用しております。</p> <p>(3) リース資産 （所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産） リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。</p>	建 物	8～22年	器具備品	5～10年
建 物	8～22年				
器具備品	5～10年				
2 引当金の計上基準	<p>(1) 貸倒引当金 金銭債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。</p> <p>(2) 賞与引当金 従業員への賞与支給に備えるため、支給見込額のうち当事業年度負担額を計上しております。</p> <p>(3) 受注損失引当金 受注契約に係わる将来の損失に備えるため、当事業年度末において将来の損失が見込まれ、かつ当該損失額を合理的に見積もることができるものについて、翌事業年度以降の損失見込額を計上しております。</p> <p>(4) 退職給付引当金 従業員への退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。 退職給付引当金及び退職給付費用の処理方法は、以下のとおりです。</p> <p style="margin-left: 20px;">①退職給付見込額の期間帰属方法 退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。</p> <p style="margin-left: 20px;">②数理計算上の差異及び過去勤務費用の費用処理方法 数理計算上の差異については、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（5年）による定額法により、発生の翌事業年度から費用処理しております。 過去勤務費用については、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（10年）による定額法により、発生時から費用処理しております。</p>				
3 収益および費用の計上基準	<p>(1) 収益認識に関する会計基準等の適用 「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）及び「収益認識に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第30号 2021年3月26日）を適用しており、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識しております。</p>				
4 その他計算書類作成のための基本となる重要な事項	<p>(1) 連結納税制度の適用 グループ通算制度を適用しております。</p>				

(株主資本等変動計算書に関する注記)

項目	当事業年度
1 当事業年度末日における発行済株式の種類及び株式数	普通株式 6,539,707 株
2 配当金の支払額	配当金の総額 810 百万円 1 株当たりの配当額 124 円 00 銭 基準日 2022 年 3 月 31 日 効力発生日 2022 年 6 月 18 日

金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。